

20. ようこそ！大阪市ではぐくむ魚・花の世界へ

大阪シティファーム

1. 子どもたちへのメッセージ

大都会の大阪市で農業や漁業が営まれていることを知っていますか？大阪市内にも、昔から大切に受けつがれてきた農業や漁業があるんです。新鮮な野菜やきれいな花を育て、魚や貝などをとり、私たちの食べものや自然、地域の人たちのつながりを支えている「都会のめぐみ」です。見て、ふれて、体験しながら、大阪市の農業や漁業のすごさとおもしろさを見つけてみましょう！

2. 授業・ワークショップ

温暖化に負けない花とは？～寄せ植えを作ってみよう～（8月15日）

大阪市では、1990年に鶴見緑地で開かれた「国際花と緑の博覧会」をきっかけに、花づくりが盛んになりました。大阪のまちは、夏になるととても暑くなります。そんな環境で栽培された大阪市内産の花苗は、暑さに強く、きれいに咲くと言われています。さらに、大阪府立環境農林水産総合研究所では、暑さに負けない花を育てるための研究が進められています。

授業では、大阪府立環境農林水産総合研究所の研究員が、地球温暖化による暑さから花を守り、元気に育てるための工夫や技術を紹介するほか、大阪市内で花苗を栽培している農家さんにお話しをしてもらいます。

ワークショップでは、大阪市内で育てられたコスモスを使って、複数の植物を一つの鉢に植える「寄せ植え」に挑戦します。



チリモン探偵団～大阪市の漁業を調査せよ～（8月16日）

陸からの栄養をたくさん運ぶ淀川は、大阪湾を豊かな海にしています。淀川河口域は、川の水である「淡水」と海の水である「海水」が混ざる「汽水域（きすいいき）」と呼ばれる養分が豊富で様々な魚介類を育む場所で、シジミやウナギなど、さまざまな生きものがくらしています。また大阪湾では、ちりめんじゃこに使われるイワシの赤ちゃんがたくさんとれます。

授業では、大阪府立環境農林水産総合研究所の研究員と大阪市漁業協同組合の漁師が、汽水域や大阪湾にくらす生きものと、大阪市の漁業について紹介します。

ワークショップでは、「チリモン（チリメンモンスター）」探しに挑戦して、自分だけ

の図鑑を作ります。小さな生きものをじっくり観察しながら、大阪湾の豊かさや、おいしい魚が育つひみつを楽しく探ってみましょう！

チリモンってなに？ …… ちりめんじゃこに使われるイワシの赤ちゃんと一緒にとれた、魚の赤ちゃんやエビ、カニなどの小さな生きものたちのことです。



画像：大阪府立環境農林水産総合研究所

3. 生きものの展示

大阪市の川や海には、どのような生きものがくらしているのでしょうか？ 会場では、ウナギなど、大阪市の水辺にすむ生きものを展示します。また、今年の 11 月に大阪で初めて開催される第 45 回全国豊かな海づくり大会で放流するキジハタやヒラメなどを、近くでじっくり観察してみましょう！（8 月 15 日、16 日）



画像：大阪府立環境農林水産総合研究所

4. 問い合わせ先

大阪市経済戦略局産業振興部産業振興課農業担当 06-6615-3751

5. 参考になる資料

日下部敬之・きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会（2009）チリメンモンスターをさがせ！. 偕成社. 64pp.